

6年生保護者 様

令和4年9月5日

流山市立新川小学校
校長 長谷川 伸一

令和4年度全国学力・学習状況調査結果の概要

残暑の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
1学期に実施しました全国学力・学習状況調査結果の個票を配布しますので、ご確認ください。尚、本校児童の結果の概要は下記の通りです。

記

1 結果及び考察

- 国語の正当率は全国平均より大幅に高く、算数と理科の正答率は全国平均と比べてやや高いという結果でした。
- 国語では「書くこと」や以前からの課題であった「記述式」の問題について全国平均より大幅に高くなっていました。これは子どもたちが自分の力でじっくりと考え、その考えを友達と比較・検討することで新たな学びを見いだしていることやまとめたことを掲示物やプレゼンテーション形式等で表現することで、学んだ内容をより自分のものすることができたためと考えます。その他の国語的分野でも全国平均より高い正答率となっており、国語学習が身につけていることがわかります。
- 算数では全領域に渡り学習内容をよく理解している事がわかりました。「データの活用」の領域で、表の意味を理解して全体と部分の関係に着目して数を求めることができていました。「変化と活用」の領域では正答率は全国平均以上ではあるものの、伴って変わる二つの数量が比例の関係にある事を用いて、未知の数量の求め方と答えを記述するのに課題があることがわかりました。また、問題形式の視点で見た場合、算数的事象の説明を論理的に説明することができていたことがわかりました。
- 理科では「地球」の領域が特に正答率が高く、天気と気温の変化を観察した結果を分析して解釈し、問題に正対した結論を導き出すことができていました。また、「エネルギー」の領域では光の性質についての理解が不十分で、実験結果から出た結論から根拠を導き出す事に苦手さがあることがわかりました。

2 生活意識

生活意識に関しては、毎日朝食をきちんと摂り、同じ時刻に寝起きできている児童が9割以上となっており、規則正しい生活を送っていることがわかりました。また、「自分には良いところがあると感じている」ことや「先生が自分を認めてくれていると思う」・「自分でやると決めたことはやり遂げようとしている」ことに肯定的な回答をした児童が非常に多いことから自己肯定感や自己有用感を高く持ち、困難なことにも粘り強く挑戦しようとする力がある事もわかりました。

3 今後に向けて

学習の中でじっくり考えることや自分の意見を友達に話したりまとめたりすることが楽しいと回答していることから、授業の中でICTを使うなどの個で考える時間を確実に確保することやまとめたことを掲示物やプレゼンテーション等で表現する機会を多く確保するようにしていきます。また、子どもたちの自己有用感を高めることで粘り強く学習に取り組むことができるので日常的に人の話をよく聞くことや自分の考えを伝えること、体験活動を通して子どもたち一人ひとりに活躍の場を与えていき、お互いを認め合いながらよりよい人間関係を築くことを行っていきたいと考えています。